



京葉工場

1. 事業概要

京葉工場は、船橋事業所と市川事業所からなり、以下の製品を供給しています。

住所	船橋事業所: 〒273-0018 千葉県船橋市栄町2丁目16番1号 流通加工センター: 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町30番地 市川事業所: 〒272-0011 千葉県市川市高谷新町4番地	
	従業員数 (協力会社)	
敷地面積	船橋事業所	544名 (H28.4.1現在)
	流通加工センター	68名 (H28.4.1現在)
	市川事業所	138名(100) (H28.9.1現在)
敷地面積	船橋事業所	30.1万㎡
	流通加工センター	4.5万㎡
	市川事業所	6.2万㎡
事業内容	船橋:ダクタイル鉄管の製造 流通加工センター: 製品置場・物流基地 市川:スパイラル鋼管の製造	
主要製品	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>船橋:ダクタイル鋳鉄直管</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市川:ガンテツパイル</p> </div> </div>	



工場変遷 (沿革)

<p>船橋</p> <p>1960年 船橋工場を新設</p> <p>1963年 ダクタイル管製造開始</p>	<p>市川</p> <p>1967年 スパイラル鋼管生産開始</p> <p>1972年 クボタ市川工場となる</p>
<p>↓</p> <p>京葉</p>	<p>↓</p>
<p>2002年 両工場を統合し、京葉工場に改称</p>	
<p>2011年 行徳加工センターを閉鎖し、その機能を市川事業所及び船橋流通加工センターに移管</p>	

2.環境・労働安全衛生方針

京葉工場 環境・労働安全衛生方針

- 1)環境マネジメントシステム(ISO 14001)並びに労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS 18001)を確立・維持し、ダクタイル鋳鉄管・ダクタイル鋳鉄異形管及び付属品、スパイラル鋼管の製造において、環境の保全と労働安全衛生に配慮した企業活動を実施します。
- 2)国、地方自治体等の規制及び工場が同意したその他の要求事項を遵守することに努めます。
- 3)原材料の購入から製造、出荷に至る生産活動、製品及び付帯するサービスの各段階において汚染の予防に努めます。また、環境マネジメントシステムを継続的に改善することによって、生産方法の改善、使用原料の見直し等を図り、長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
- 4)傷害及び疾病の予防を含む労働安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善することによって、労働安全衛生パフォーマンスの向上と継続的改善に努めます。
- 5)本方針を実践するための具体的な目標及び施策を策定し、その実施状況を定期的に評価し、見直しを行うことに努めます。
- 6)この方針を工場の全従業員及び来訪者・利害関係者に周知させると共に、環境保全と労働安全衛生に対する意識の高揚に努めます。
- 7)地域での環境保全活動並びに労働安全衛生活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。またこの方針は公表します。

2015年4月1日 京葉工場長

ISO認証取得状況

京葉工場はISO 14001の認証を1998年7月に取得しました。国内の鉄管メーカーとして、また、船橋市内の事業所として最初の認証取得です。クボタとしては、2001年3月末で国内全事業所での取得を完了しました。

さらに、京葉工場は、既にISO 9001(品質)の認証を1994年2月に取得しており、2002年12月には、OHSAS18001(安全衛生)の認証を取得しました。

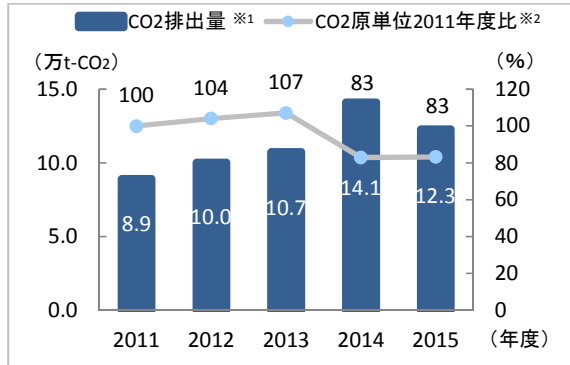
2010年5月には、クボタグループの環境保全への取り組みについて、「エコ・ファースト企業」として認定されました。「エコ・ファースト制度」は、環境保全に関する業界トップランナー企業の行動を促進していくために、企業が環境大臣に対して自らの環境保全に関する取り組みを約束し、その目標や実現のための取り組みが、業界のトップランナーとしての先進性を有すると判断される場合、「エコ・ファースト企業」として認定する制度です

京葉工場

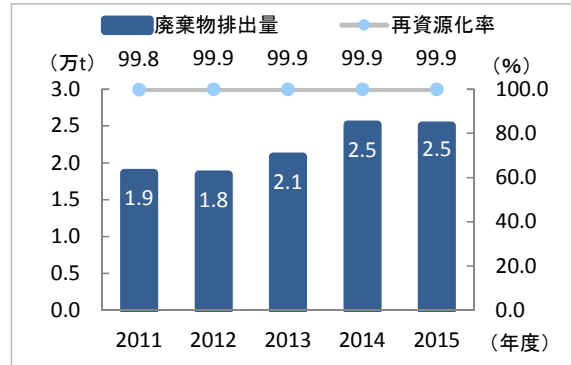
3.環境パフォーマンス(船橋)

(1)主要な環境指標の推移

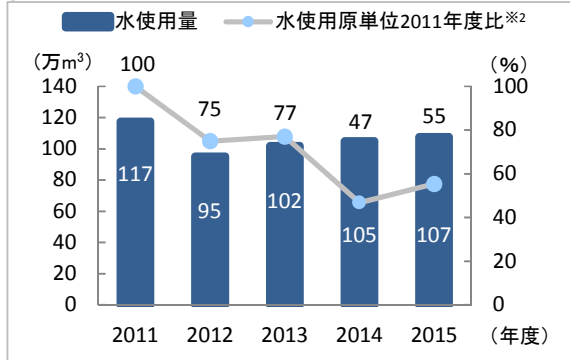
①地球温暖化の防止



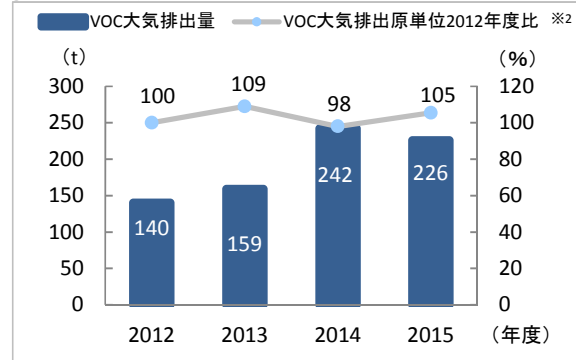
②循環型社会の形成-廃棄物の3R



③循環型社会の形成-水の3R



④化学物質の管理



※1 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。
 ※2 2011年度(または2012年度)における生産トン数あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数
 ※3 報告対象期間は、各年4月1日から翌年3月31日です。

(2)PRTR法対象物質集計結果(2015年度)

単位：kg/年

事業所名称	政令No.	物質名称	排出量				移動量	
			大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
船橋	53	エチルベンゼン	39,814	0.0	0.0	0.0	0.0	806
	80	キシレン	48,996	0.0	0.0	0.0	0.0	971
	87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	277	トリエチルアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	296	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	2,840	0.0	0.0	0.0	0.0	32
	297	1, 3, 5-トリメチルベンゼン	1,045	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1
	300	トルエン	104,001	0.0	0.0	0.0	0.0	1,956
	305	鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	308	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20
	349	フェノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	354	フタル酸ジ-n-ブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	120,226
448	メチレンビス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
流通加工センター	53	エチルベンゼン	5,156	0.0	0.0	0.0	0.0	105
	80	キシレン	19,230	0.0	0.0	0.0	0.0	392
	300	トルエン	4,998	0.0	0.0	0.0	0.0	102

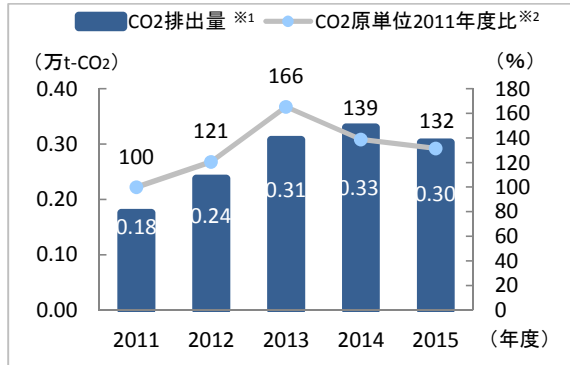
※ 届出対象(拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上)の化学物質について集計

京葉工場

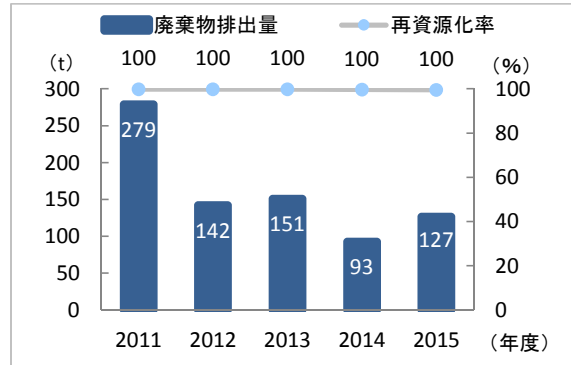
3.環境パフォーマンス(市川)

(1)主要な環境指標の推移

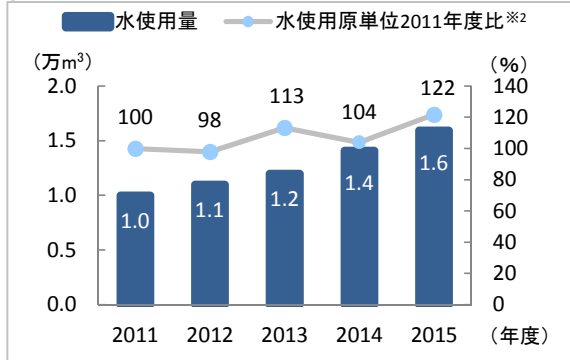
①地球温暖化の防止



②循環型社会の形成-廃棄物の3R



③循環型社会の形成-水の3R



※1 CO₂排出量はエネルギー起源のCO₂排出量です。エネルギー起源CO₂の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。
 ※2 2011年度における生産トン数あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数
 ※3 報告対象期間は、各年4月1日から翌年3月31日です。

(2)PRTR法対象物質集計結果(2015年度)

単位：kg/年

事業所名称	政令No.	物質名称	排出量				移動量	
			大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
市川		届出対象無し	-	-	-	-	-	-

※ 届出対象(拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t以上)の化学物質について集計

京葉工場

4.サイトデータ(船橋)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	40,134
水使用量	万m ³	107.4

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	122,607
----------------------------	-------------------	---------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		溶解炉		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h		総量規制	39.8	2.1
NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		総量規制	26.7	3.1
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.002

排水量	公共用水域 万m ³	131.2	
	下水道 万m ³	-	
汚濁負荷量	COD	t/年	5.2
	窒素	t/年	3.2
	りん	t/年	0.046

排水	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.0~9.0	6.3,7.6
		BOD	mg/l	-	-
		COD	mg/l	20	5
		窒素	mg/l	20	5
		りん	mg/l	2	0.4
		六価クロム	mg/l	0.05	<0.02
		鉛	mg/l	0.1	ND
		COD総量規制値	kg/日	110.5	46.9
		窒素総量規制値	kg/日	114.7	24.4
		りん総量規制値	kg/日	11.65	1.82
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/l			-	-
COD	mg/l			-	-
SS	mg/l			-	-

廃棄物排出量	t	25,049
再資源化率	%	99.9%

VOC排出量	t	226
--------	---	-----

京葉工場

4.サイトデータ(市川)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1,471
水使用量	万m ³	1.6

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	3,030
----------------------------	-------------------	-------

主要ばい煙発生施設		-		
項目	単位	規制内容	規制値	測定値
排出ガス	SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h	ばい煙発生施設なし	
	NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		
	ばいじん	g/m ³ N		

排水量	公共用水域 万m ³	4.0	
	下水道 万m ³	-	
汚濁負荷量	COD	t/年	0.064
	窒素	t/年	0.096
	りん	t/年	0.010

排水	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.0~9.0	7.0,7.7
		BOD	mg/ℓ	60	-
		COD	mg/ℓ	60	6
		窒素	mg/ℓ	70	9
		りん	mg/ℓ	7	1
		六価クロム	mg/ℓ	-	-
		鉛	mg/ℓ	0.1	-
		COD総量規制値	kg/日	4	0.2
		窒素総量規制値	kg/日	2.865	0.34
		りん総量規制値	kg/日	0.391	0.035
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/ℓ			-	-
COD	mg/ℓ			-	-
SS	mg/ℓ			-	-

廃棄物排出量	t	127
再資源化率	%	99.7%

VOC排出量	t	-
--------	---	---

京葉工場

5.環境コミュニケーション

☆地域の美化活動に積極的に取り組んでいます

- ・クリーン作戦(毎月1回実施)
船橋事業所(栄町)
流通加工センター(高瀬町)周辺
- ・公道ボランティア(市川市開発協議会) 2回/年実施
市川事業所(高谷新町)周辺



☆環境に関する取組を紹介しています。

- ・船橋市環境フェア(1回/年)



京葉工場

6.環境トピックス(生物多様性保全)

工場緑化保全とトンボ池

船橋事業所では、1974年に県並びに市と緑化協定を締結して緑地を増やし、現在、工場で約15%、出荷ヤードでは20%を緑地としています。1995年には工場内(外周)を周回する全長2.5kmの遊歩道を作り、従業員の環境意識の向上及び健康増進を図りました。

また、1999年にはISO14001認証取得のシンボルとしてトンボ池を造成し、地元の自然環境の復元・保全を担っています。1999年から2010年までにトンボ池で観察されたトンボは22種にのぼり、時にはカルガモのつがいを見かけることもあります。

京葉工場のトンボ確認記録(1999～2010年集計)

○:1頭のみ記録
◎:複数頭の記録

No	種名	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			トンボ池への定着								
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	飛来	産卵	羽化						
1	アジアイトトンボ	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
2	アオモンイトトンボ				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
3	クロイトトンボ						○																						○	○	○						
4	ムスジイトトンボ																○	○											○	○	○						
5	オオイトトンボ																		○										○	○	○						
6	ホソミオツネトンボ	○	○							○												○							○	○	○						
7	アオイトトンボ									○																			○	○	○						
8	オオアオイトトンボ																												○	○	○						
9	マルタンヤンマ							◎	◎	◎	◎	◎	◎						○										○	○	○						
10	ヤブヤンマ															○													○	○	○						
11	ネアカヨシヤンマ																		○										○	○	○						
12	クロスジギンヤンマ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
13	ギンヤンマ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
14	ハラビロトンボ																												○	○	○						
15	シオカラトンボ	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
16	オオシオカラトンボ																												○	○	○						
17	ショウジョウトンボ				○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
18	アキアカネ							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○						
19	ナツアカネ										◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
20	マイコアカネ													◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
21	ノシメトンボ							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
22	コノシメトンボ													○	○		○	○		○	○								○	○	○						
23	コシアキトンボ													○	○		○	○		○	○								○	○	○						
24	ウスバキトンボ							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
25	チョウトンボ							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							○	○	○						
種類数		6			7			15			15			15			15			16			3			1			22			12			12		



トンボ池



クロスジギンヤンマ♂



カルガモのつがいの飛来



東京湾沿いでは少なくなったハマヒルガオ